

みんなで
つくる
園の未来!

保育ナビ

4

2024
APRIL
<1/12>

大特集

子ども主体の保育で 持続可能な園へ

幼保小の架け橋に
「10の姿」で見る小学校の活動
幼児期の終わりまでに
育てほしい姿と
小学校での活動の連続性

3・4・5歳児 遊びが育つ保育
協同性の発達と遊び

0・1・2歳児保育の
センス・オブ・ワンダー
安心と安全の中での出会い

密着!
ミドルリーダーのしごと

『保育ナビ』は
創刊15周年を
迎えました

『保育ナビ』の使い方

読む

まずは、自分で読みます。回覧したりして、園内でも各自で読みます。



語り合う

読んだ記事をもとに、園内で「雑談」をしたり「研修」をしたりしてみましょう。



保育の質の向上へ

読み、話すことで、園内で学び合い・語り合いが生まれ、保育の質が高まります。



【今月のおすすめ】

園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

園長 主任 学年リーダー

マークのついているコーナーでは、園内で話し合うためのお題・ワークを用意しています。職員会議や園内研修などでご活用ください。

マークのついているコーナーではワークシート等のダウンロードができます。右の二次元コードからアクセスしてください。



マークのついているコーナーでは、関連動画があります。

『保育ナビ』が伝えたいこと

Hoiku
navigation

こども・子育て政策が大きく動く今、保育現場のイノベーションが鍵に！

2023年4月のこども家庭庁の創設、年末にはこども大綱、こどもの育ちに係るビジョン等の閣議決定、こども・子育て関係予算はOECDトップ水準が示されるなど、大きな動きが起きています。次元の異なる少子化対策の実現のためにも、園のリーダーが園や地域のあり方を描く力が不可欠になるでしょう。今年度も皆さまとじっくり語り合い、本質を見出す助けとなる保育雑誌であることをお約束します。——『保育ナビ』編集部

『保育ナビ』は、編集委員がサポートしています。

秋田喜代美 (学習院大学)
大方美香 (大阪総合保育大学)
大豆生田啓友 (玉川大学)
北野幸子 (神戸大学大学院)
汐見稔幸 (東京大学名誉教授)
砂上史子 (千葉大学)
無藤 隆 (白梅学園大学名誉教授)
矢藤誠慈郎 (和洋女子大学)
敬称略 50音順

巻頭

フレーベルのことば 汐見稔幸 小西貴士

大特集

子ども主体の保育で
持続可能な園へ …4

大豆生田啓友



注目テーマ

園 幼保小の架け橋に
「10の姿」で見る小学校の活動 …22

無藤 隆

なるほど！
「こども誰でも通園制度（仮称）」…24

秋田喜代美

共創のためのリスペクト型マネジメント
地域の学び合いで
研修づくり・園づくり …26

大豆生田啓友

保育内容

主 3・4・5歳児 遊びが育つ保育
協同性の発達と遊び …30

河邊貴子

0・1・2歳児保育の
センス・オブ・ワンダー …32

井桁容子

園 チャレンジ！
子どもの姿ベースの指導計画 …34

大豆生田啓友 岩田恵子

子どもに保育研究を伝える
～子どもたちへのメッセージ～ …38

松井剛太 本岡美保子

リ 一人ひとりの感性が輝く
アートな世界 …40

足立真知子

リ 密着！ミドルリーダーのしごと …44

秋田喜代美

リ 保育の種
子どもの健康を守るために …46
認定こども園すなはら

主 若手育成のための
文章の書き方練習帳 …47
浅井拓久也

主 子どもたちのミーティング
Q&A …48
青山 誠

information …49

国の動き

国の動きを読む！
研究者の目2024 …50
大方美香

園経営

コンサルタントが読み解く
新時代の園経営2024 …52
桑戸真二 松本和也

ビジュアルで読み解く！
園の危機管理
ポイントチェック …54
脇 貴志

人材育成

園 職員確保、離職に効く
職場づくり …56
菊地加奈子

リーダー座談会
人材育成 わいわい語り場Ⅲ …60
北野幸子

子ども主体の保育で 持続可能な園へ

「こどもまんなか社会」に向けて国が舵を切っていくなか、社会の変化を捉え、園を「持続可能」にしていくことは、園のリーダーの重要なミッションです。しかしそれは、単に自園の存続を目指すことだけではなく、社会全体の幸福を高める取り組みによって実現されるものだと考えます。その鍵となるのが「子ども主体の保育」。本特集では、国の最新の動向を押さえながら、リーダーたちの変革の実践を取り上げていきます。(編集部)

監修 大豆生田啓友 (玉川大学)



Contents

Part 1 スペシャル対談

「こどもまんなか社会」の園のあり方、保育のあり方 …P.5

秋田喜代美×大豆生田啓友

Part 2 実践トライ & エラー

わたしの園の変革への道 …P.10

・あけぼのほりえこども園 ・平塚保育園 ・別海くのみ幼稚園 ・学校法人くるみ学園
・めぐみこども園 ・社会福祉法人 協愛福祉会

Part 3 リーダー座談会

6人のリーダーによる「持続可能な園」への
本気の取り組み …P.16

大豆生田啓友、戸巻 聖、中戸華恵、横山和明、加藤泰和、上田理恵、安家 力

「子どもまんなか社会」の園のあり方、保育のあり方

2023年12月、子どもの育ちに係る国の重要な施策が閣議決定されました。本対談では、「子どもまんなか社会」の実現に向け、「こども基本法」の理念にのっとり整理した5つのビジョン等について、検討会議で中心となり取りまとめを行った秋田先生と大豆生田先生に解説いただきました。これからの社会における、園のあり方を考えます。

大豆生田先生(以下、大豆生田)...

今、こども家庭庁を中心に政策に大きな動きがあります。「こども基本法」「こども大綱」「こども未来戦略」の策定、また「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン(はじめの100か月の育ちビジョン)」等の国の動向を秋田先生に解説いただき、園の今後の方向性を考えたいと思います。

秋田先生(以下、秋田)...まず、「子どもまんなか社会」とは、すべての子どもの権利の保障が真ん

中にある、というメッセージだということですね。大豆生田先生も一緒に作ってくださった「はじめの100か月の育ちビジョン」の5つの項目は「こども大綱」ともつながります。

その1つめは、「**こどもの権利と尊厳を守る**」。子どもを生まれるながらに権利をもつ存在だと見る、ということですね。社会のみならず子どもの権利を保障することが中心になります。

大豆生田... 思いや願いも含めて子どもの声を聴くことが保育で

左

秋田喜代美

(あきた きよみ)

学習院大学文学部教授。東京大学名誉教授。日本保育学会第7代・第9代会長。こども家庭庁「こども家庭審議会」会長、内閣官房こども未来戦略会議委員、文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会部会長等、多くのこども政策にかかわる。

右

大豆生田啓友

(おおまめうだ ひろとも)

玉川大学教育学部教授。こども家庭庁「こども家庭審議会」委員、文部科学省「幼保小の接続期の教育の質的向上に関する検討チーム」委員、厚生労働省「保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会」座長代理等歴任。NHK・Eテレ「すくすく子育て」出演。

幼保小の架け橋に

「10の姿」で見る小学校の活動

園での子どもたちの様々な体験は、小学校にどのようにつながっていくのでしょうか。小学校側の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)のエピソードを通して、育ちの連続性を見ていきます。今号では、無藤隆先生に、保育者に注目してほしいポイントをお話しいたします。

執筆・監修 無藤 隆 (白梅学園大学名誉教授) 協力/東京書籍 イラスト/ニシハマ カオリ

はじめに

無藤 隆

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と 小学校での活動の連続性



幼児期の終わりまでに育ってほしい姿とは、幼児期の資質・能力を保育内容のいくつかに即して特徴を具体化し、それを10個に整理したものです。それは幼児教育の学びをまとめたものなので、小学校1年生の段階で授業の基盤となります。10の姿から始めると、小学校の授業が子どもにとってわかりやすく、おもしろく、そして意味の深いものになっていくのです。

幼児期の資質・能力とは、子どもが感じ気付き、考え工夫し、意欲をもって粘り強く取り組むようになっていくことです。幼児期に完成するわけではなく、小学校に入って、教科等の学習活動を通してさらに伸びていきます。同時に、保育内容の違いに応じて幼児教育では運動遊びや構成遊び、ごっこ遊び、絵本表現など様々な活動が行われ、その学びの芽生えが小学校の教科へと発展します。

たしかに幼児教育と小学校教育の教育の進め方はかなり異なり、体験中心から授業という時間での集中した系統的な取り組みへと発展していきます。でも、資質・能力と保育内容から教科内容へという流れで捉えると連続性があり、それを踏まえることで幼児教育側も小学校側もその保育・教育の質を向上させていくことができるのです。

年間予定 ※以下の順番で小学校の活動を紹介していきます

4月号	はじめに	10月号	「思考力の芽生え」の事例
5月号	「健康な心と体」の事例	11月号	「自然との関わり・生命尊重」の事例
6月号	「自立心」の事例	12月号	「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」の事例
7月号	「協同性」の事例	1月号	「言葉による伝え合い」の事例
8月号	「道徳性・規範意識の芽生え」の事例	2月号	「豊かな感性と表現」の事例
9月号	「社会生活との関わり」の事例	3月号	まとめ

プロフィール●無藤 隆 (むとう たかし) / 白梅学園大学名誉教授。白梅学園大学大学院で指導を行うかたわら、保育者、保育研究者向けの講習会、勉強会にて講演を行う。幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会委員

この連載は、小学校から高等学校までの教科書事業を手がける東京書籍とフレーベル館のコラボレーションによるものです。

幼児期の 終わりまでに 育てほしい姿 (10の姿)

出典 「一人一人のよさを未来へつなぐ一学校教育のはじまりとしての幼稚園教育」(文部科学省、2019年12月)より
一部改変

4 道徳性・ 規範意識の 芽生え

よいことや悪いことが
分かり、相手の立場に
立って行動するよう
になる。きまりを守つたり
するようになる。

1 健康な 心と体

自ら健康で安全な
生活をつくり出す
ようになる

3 協同性

友達と一緒に目的の
実現に向けて考えたり
協力したりするよ
うになる。

2 自立心

自分の力でやり遂げ
る体験などを通じて
自信をもって行動す
るようになる。

5 社会生活 との関わり

家族を大切にしたり、身
近な人と触れ合って地域
に親しみをもつよ
うになる。社会とのつながりを
意識するようになる。

6 思考力の 芽生え

身近な事象から物の性
質などを感じ取つたり、
予想したりして、
多様な関わりを楽しむ
ようになる。

7 自然との 関わり・ 生命尊重

自然への愛情や畏怖の
念をもつよ
うになる。生命の不思議さなどに
気づき、動植物を大切
にするようになる。

9 言葉による 伝え合い

経験したことなどを言
葉で伝えたり、話を聞
いたりして、伝え合
いを楽しむよ
うになる。

8 数量や 図形、標識や 文字などへの 関心・感覚

遊びや生活の中で、数
量や図形、標識や文字
などに親しむ。

10 豊かな 感性と表現

心動かす出来事に触
れ、感じたことを表現
して、表現する喜びを
味わい、意欲をもつよ
うになる。

なるほど！

「こども誰でも通園制度」(仮称)

2024年度から本格実施を見据えた試行的事業が行われる「こども誰でも通園制度(仮称)」。
モデル事業園の実践を通して、制度の一端をご紹介します。



解説
秋田喜代美
(学習院大学)

「やっとこの時が来た！」という思いで

手を挙げた理由は？

認定こども園をつくった当初から、親の就労に関係なく、だれもが豊かな幼児教育・保育を受けられるような施設にしたいと思っていました。これまで、就園せず、家庭にいる子どもたちはその権利を享受できなかったわけです。今回、やっとそこに手が届くようになるのです。子どもの成長とご家庭に寄り添うことの必要性を以前から感じていたので、「やっとこの時が来た！」と手を挙げました。

利用者の様子は？

現在、5組の親子に活用いただいています。その中の2歳になったばかりのお子さんが、離乳ができていませんでした。初めてのお子さんということもあり、母親が断乳の仕方がわからなかったのです。お子さんの様子を見て、母親と保健師を交えた三者で話し合いながら断乳計画を作りました。取り組むうち、お子さんは年齢に合った食事ができるよう

になりました。

また、家庭でトイレトレーニングができていないお子さんもいました。園で生活し始め、ほかの子どもたちの様子を見るうち、本人自ら、見よう見まねでやるうとするようになりました。子どもは生活する中で学んでいくということを実感しています。何を、どう、いつまでに進めていくのか、保護者の方とも話し合いながら行うことになるので、「計画」を作成し、保育を行う担当者は必要になると思います。

課題は？

まず、人員の問題です。人手不足もあるなか0・1・2歳の発達段階を理解している人材をどれだけ確保できるのか。また、保健師さん、栄養士さんという人たちもかかわっていくことを考えた時、どうすればその体制が整えられるのか。

また、私たちはこれまで、園に入園してくださる方々だけを支援してきました。でも、少子化が進み、園の存続が危ぶまれる地域もある時代

お話を
うかがった
園

社会福祉法人浄元福祉会
認定こども園
あかさかルンビニー園
理事長・園長 王寺直子 先生



園データ
所在地：佐賀県西松浦郡有田町赤坂丙2351-192
園種：幼保連携型認定こども園
利用方法：定期利用
実施方法：一般型（在園児と合同）

です。時代は変わったと感じます。

では、私たちは何をすべきか

考え方を変え、地域全体の子どものためにやっているとすることが園のためにもなるという視点をもつことが求められるのだと思います。もう、数年前とは見えている「景色」が違います。

園が地域に寄り添うことで、「もう一人、産もうかな」とならないかなど、希望をもっています。

◆ 実際の園での様子から ◆

制度を利用している2名のお子さんの生活風景から、保育の様子を紹介します。

Aくん(2歳)



8月10日(木)

白いご飯が大好きで、配膳されたらすぐにご飯を食べ始めた。まだおかずは食べられず、白いご飯、スープ(汁のみ)、みかんをおいしそうに食べていた。母親からも「家でもこんな感じ。これは食べているほうだ」と言われた。家ではほとんど食べない時もあり、ミルクだけの時もあるらしい。成長に待ちたいと思う。



8月24日(木)

それまでは1人遊びが多かったが、この日は、「マグネット遊び」をするBちゃんと、Cさんがマグネットを交換して遊んでいたところ、自分から近寄っていった。持っているマグネットを差し出しているのでも、保育者が「どうぞ、って言うてみてごらん」と声をかけると、すっと手渡した。言葉も理解し、友だちとかがわかるうとする姿も見られた。成長を感じる。

Jさん(2歳)



8月3日(木)

以前はおむつを脱ぐこともいやがっていたのに、友だちがトイレへ行くにつれていこうとする。まだトイレで排尿はできないが、いやがらずに行けるようになったことは大きな1歩だと思う(後日、トイレでできるようになった)。



育ちの見通しを共有し、より良い生活を創る
秋田喜代美

2024年度から「こども誰でも通園制度(仮称)」の試行事業が全国で始まります。本連載では上半期は昨年度からのモデル園をご紹介します。

第一子で断乳やトイレトレーニングなど、親もわからずついそのままになっていたことも、親子で通園することで、園として各々の子どもと親に寄り添う計画・援助ができ、子どもの生活もより良く、より豊かになっていくことが伝わってきます。定期利用で相互の信頼ができることが育ちにもつながります。また、在園児との子ども同士の集団生活の場だからこそ、子ども自身、次第に自ら学んでいく姿の大切さもよくわかります。でもこれも、受け入れ人数に応じた人員や専門性が鍵になります。

園が地域の子どもの育ちを創り出す中核になる時代ですね。

チャレンジ!!

子どもの 姿ベースの 指導計画

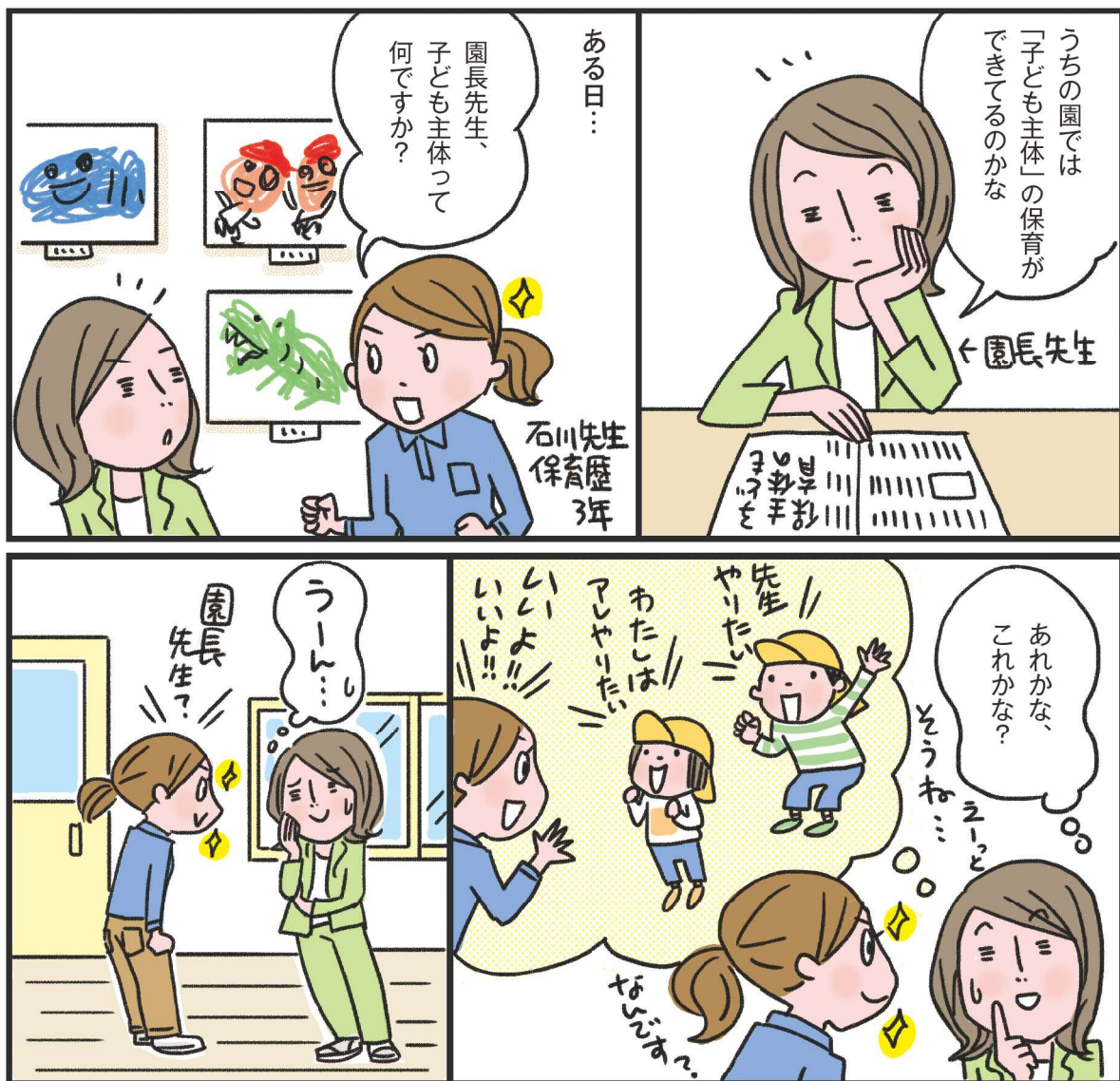
監修・執筆 大豆生田啓友 (玉川大学)
執筆 岩田恵子 (玉川大学)

子どもの主体性を大切にした保育を目指す時、記録や計画はどうあるとよいのでしょうか。子どもの姿をベースにした指導計画を目指す、「なびこども園」の奮闘を通して考えていきます。

4月のテーマ

子ども主体ってなんだろう

2024年度も新しい子どもたちを迎え、スタートした「なびこども園」。ある日、園長の千葉先生にある転機が訪れます。このあと1年かけて指導計画・記録を子どもの姿ベースに変えていくことになるのですが、それはまだ先のお話……。あれ？ 千葉先生が困っていますよ、どうしたのでしょうか。



イラスト/すぎやまみこ

プロフィール●大豆生田啓友 (おおまめうだ ひろとも) / 玉川大学教育学部教授。専門は保育学、乳幼児教育学。「就学前のこどもの育ちに係る基本的な指針」に関する有識者懇談会 座長代理。著書に「子どもの姿ベースの指導計画シリーズ」(全3巻)「園のリーダーのためのリスペクト型マネジメント」(全2巻、共にフレーベル館) ほか多数。



岩田 恵子
(玉川大学)

ポイント1

「子ども主体」って何？

「子どもの主体性を大切に」という言葉、耳にすることも多いですね。けれども、「子どもの主体」とはなんだろうと問い直してみると、職員それぞれ思っていることが異なり、誤解していることもたくさんありそうです。

この連載では、子どもの姿ベースの指導計画にチャレンジしていくなかで、本当の意味での「子ども主体」とはどのようなことであるかを考えていきたいと思います。

はじめに考えたいことは、「子ども主体とは何か」です。「子どもが主体的に活動する」といった時、自ら進んで行動することや、大人が望んで

いることを自発的にすることだけを考へてはいませんか？では、じつと考へ込んでいたり、大人が望むことではないことを試みようとしたりすることは主体的ではないのかと言え、そうではありません。子どもがその子らしく過ごしていることが、主体が大切にされていることであり、その子らしく過ごすことは、周りのヒトやモノ、コトとの関係の中で生まれています。このように、「子ども主体とは何か」を考へると、その子がその子らしく過ごせること、その子と周りの関係が丁寧に見えることが大切であることが見えてきます。

ポイント2

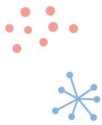
子どもの主体的な姿を捉えるって どういうこと？

「子ども主体」について考へていくには、子どもの姿を関係の中で見るということが出発点になりそうです。

関係の中で見るとはどういうことでしょうか？子どもの姿は、ただ「眺めて」いても見えてきません。生まれつきの赤ちゃんとあっても、他者や世界とかわるうとしていることを前提に、その子がどのような世界を感じ、味わい、考へ、おもしろがっているのかを「どうなんだろう」という思いで共に感じ、味わい、考へていくことが子どもの姿を周りのヒトやモノ、コトとの関係の中で捉えることの基盤になります。

子どもの権利条約では、子どもを人間として尊重し、権利をもつ主体としてのあり方を保障することを謳っています。

子どもは、ただ大人に保護され、教えられる受け身の存在ではありません。自ら周りのヒト、モノ、コトとかわるうとして、自ら学ぼうとしていて、それはまさに主体としての営みです。子どもも「ひとりの人間として人権（権利）」をもっている「存在として、保育者が尊重してかわり合うことができれば、子どもの主体的な姿が自ずと見えてきます。



～はじめに～

この日は、園の文化祭の行事「いぶきわくわくフェスタ」後に行われる<後夜祭>と呼ばれる行事の1日目。3・4歳児が出し物を披露。5歳児はお客さんとして参加することになっている。



「5歳児代表チーム」と話し合い

5歳児チーム学年リーダーである北浦先生の仕事は、5歳児4クラスから2名ずつが選ばれ行事のお手伝いをする「代表チーム」の話し合いのサポートから。議題は後夜祭開始前の園内放送の内容について。だれが、何を、どう伝えるのか、話し合いをまとめていく。



園内へ一斉放送

話がまとまり、職員室の放送設備前に移動。みんなで声を揃えて、「今日はいぶきわくわくフェスタの後夜祭です！」。



5歳児たちは、他学年の出し物の準備ができるまで各保育室で過ごしている。その間、4クラスのすべての担任がこの日に決まった「代表チーム」の役割と動きを共有して回る。

密着! ミドルリーダーのしごと

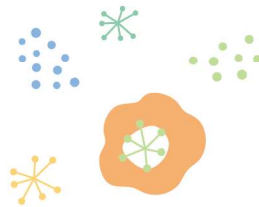
「ミドルリーダー」と呼ばれる立場にある保育者の役割は園によってそれぞれです。毎月、その1日取材し、仕事の様子を紹介します。

第1回 認定こども園いぶき幼稚園 (兵庫県神戸市)

(4・5・6月号) 監修 秋田喜代美 (学習院大学)

写真/渡辺 悟

※ 2023年12月に取材



今回の「ミドルリーダー」

北浦 朱紗 先生
(保育歴: 10年目)

現在、「5歳児チーム学年リーダー」(担任なし)、「特別支援教育」、「外部講師」担当。高校時代はテニス部 主将、大学時代は副主将を務めた。

この日の流れ

- 9:15 「5歳児代表チーム」と話し合い
- 9:40 園内放送
- 9:45 後夜祭 (3・4歳児)
@ 遊戯室、@ 園庭
*5歳児はお客さんとして参加
- 12:30 休憩
- 13:00 後夜祭 (4歳児)
@園庭
- 15:00 5歳児チームの担任と打ち合わせ

◆仕事で大事にしていることは？

担任兼学年リーダーであった昨年までは、保育後に担任の先生たちの悩みや困りごとを聞いても、実際に現場を見るのが難しかったのですが、今年は現場を見に行くことができるので、子どもの姿を客観的に見て、具体的に伝えるようにしています。

また、子ども、保護者の方々、先生など、みんな一人ひとり違うので伝わり方も様々です。人とのつながりを大切に、できる限り周りの人のことを知れるよう意識しています。

◆これからの目標は？

様々なヒト・モノ・コトをつないでいくために対話を大切にしていき、自らの経験を踏まえて、今の自分だからこそ見える部分を先輩に伝えたり、一緒に考えたりしていきたいです。また、自分の役割を果たすことに限らず、できるだけ視野を広くもてるよう意識していきたいです。これまでつないでいただいた先輩と比べると足りない部分はたくさんあります。自分がいざその立場になってみると迷うことも多く、試行錯誤の日々です。

ミドルリーダーの役割とは？



チームを機能させるための「つなぎ」役

園長 阿部 能光 先生

ミドルリーダーとは、園内の様々なヒト、モノ、コトをつないで、チームとして機能するための「つなぎ」の役割を果たしてくれる人です。園長、副園長といったトップリーダー層と現場の担任をつないで、お互いの考え、思いを聞き取り、橋渡ししたり翻訳したり、仲介したりするパイプ役といったところでしょうか。

ミドルリーダーが活躍する場面としては、保育中では、子どもの成長を支えるために担任と連携し、担任だけではできない部分をサポートすることだと思えますし、保育後であれば、後輩の話を聞き、自らの体験談を交えながら相談のり、後輩の成長をサポートしていくことになると思います。

当園の場合、クラス担任を卒業

した1つ上のポジションとして、学年全体、園全体を見ながら動ける人、経験年数とともに視野を広く持てるようになってきた人たちが就くポジションです。

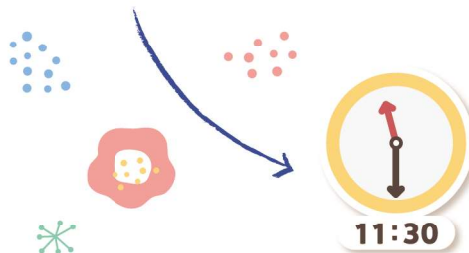
[DATA]

学校法人鈴蘭台学園
認定こども園いぶき幼稚園
園長 阿部 能光
住所：兵庫県神戸市西区
井吹台東町4丁目19
創立：1993年
利用定員：1号認定202名、
2・3号認定78名



後夜祭スタート

各学年の出し物を楽しみながらも周囲への目配りは欠かせない。代表チームの仕事のフォローや、他学年の子どもに寄り添うことも。



5歳児のデザインマップ(振り返り)チェック

この日は午後から、5歳児チーム担任との打ち合わせ。テーマは、子どもの姿の情報共有。各クラス担任から提出された実践記録を読み込んでおく。



昼食の後、後夜祭の午後の部スタート

職員室に戻ると、ひっきりなしに保育者から相談をもちかけられていた。



5歳児チームの担任と打ち合わせ

各クラス担任から、遊びの様子、前週の行事の振り返り、子どもの姿などについて詳細な報告が。活動報告での疑問点も踏まえつつ、自身の経験を引き合いに、検討するポイントを提案することも。

保育の種 子どもの健康を 守るために

監修・執筆 認定こども園すなはら 高橋広美（園長）、
五十部有希（保育教諭）、二宮智美・滑川紀恵（看護師）

日々全力で遊び・学んでいる子どもたちにとって、体調不良やケガは避けられないもの。子どもを尊重し、子どもの健康を守るための保育者と看護師の連携と、次の保育につなげるためのポイントを考えます。

今月のテーマ

慣れ保育と午睡

午睡にヒヤリ

今年、0歳児は9名入園してきました。はじめて親から離れる子どもたちですから、まずは慣れ保育で、職員と遊んだり抱っこされたりして過ごしています。少しずつ保育時間が延びてきた時のことです。Aちゃんが歯固めを口に入れたまま寝てしまい、ヒヤリとしました。

保育者の視点

「いつもの様子」を知る

新入園児については、まだ性格や好みを把握できていません。まずはその子の遊び方や泣き声、ミルクの飲み、便や肌などの様子をよく観察します。また登園時に家庭での様子が普段と変わりがないか聞き取ります。

特に4月に注意したいのが午睡時間です。SIDS（乳幼児突然死症候群）は環境が変わった時に発症するとも言われているのでガイドライン*1を改めて確認しましょう。

看護師の視点

午睡中のチェックポイント



- ・体温は平熱か*2
- ・顔色は良いか
- ・手は布団から出す
- ・顔と掛布団はこぶし1つ分空ける
- ・回りに玩具等を置かない
- ・顔色がわかるよう、部屋を暗くしすぎない

- ・深い眠りにならないよう、体に優しくふれる。
- ・“いつもと違う”ことに気付くこと！

午睡チェックのICT化が進んでいますが、機械に頼りすぎず自分の目や手でふれて確認しましょう。子どもに咳・鼻づまりの症状がある場合は、胸から上を高くすると横隔膜が下がり、肺が広がるので寝やすくなります。

*1 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン
<https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/effort/guideline/>

*2 認定こども園すなはらでは、入園後に保護者に1日3回2週間分の体温を測ってもらい、その体温をもとに平熱を確認し、健康の目安とします。

「新入園児熱計表」の
例はこちら▶



次の保育につなげるために 慣れ保育は子どもに合わせて丁寧に

最近、慣れ保育の必要性を理解して入園してくる保護者が増えました。慣れ保育中に互いを知ることが園生活の安心・安全の第一歩になり、卒園までの信頼関係につながります。保護者の就労の都合で進めがちですが、低月齢児ほど子どものペースで丁寧に進めましょう。

年間予定

4月号 慣れ保育と午睡
7月号 体調不良の子ども①
10月号 窒息と食事
1月号 頭をぶつけたら

5月号 感染症の流行と対策
8月号 体調不良の子ども②
11月号 嘔吐
2月号 からだの穴のはなし

6月号 熱中症
9月号 散歩で気を付けること
12月号 下痢
3月号 親の役割、園の役割

イラスト/すみもとななみ

若手育成のための

文章の書き方練習帳

連絡帳に園だより、記録等、保育者の仕事は様々な書類作成を求められます。文章を書くことがプレッシャーにならないよう、子どもの姿を伝えるための上手な文章作成のポイントをお伝えします。



執筆 浅井拓久也
(鎌倉女子大学)

今月の
テーマ

見切り発車はダメ！ 何について、どう書くかを決めてから書く

読み手に伝わる文章を書くためには、書く前が大事です。しっかり考えてから書くのです。具体的に言うと、まずこれから何について書くか、次に何を伝えるかをしっかり考えて、最後に書く順番を決めてから書き始めるということです。書きながら次に書くことを考えたり、思いついたことを思いついたまま書いたりすると、話があちらこちらに飛んでしまい、読み手に伝わる文章にはなりません。そこで、書き始める前に、何について、何をどうやって書くのかを決めます。単語を書き出し、書く順番に並べたメモ書きを作るのもよいでしょう。「とりあえず書き始める」はダメ！書き始める前に、しっかり考えることが大事なのです。

連絡帳で翌日の持ち物を伝えたい

次の文章を直してみましょう

明日は水遊びです。ここちゃんは今日の散歩も先頭ではりきっていましたし、明日も楽しめると思います。暑い日が続きますね。タオルを1枚持参してくださいね。

解答例

明日は水遊びですから、タオルを1枚持参してください。ここちゃんも明日の水遊びを楽しみにしているようです。

解説

問題文は思いついたことをそのまま書いているように見えます。水遊びの持ち物についてタオルの持参を伝えたいのなら、散歩の話は不要ですし、水遊びのためにタオルが必要とわかるように書きます。問題文では、タオルの持参を書き忘れそうになったので最後に慌てて追加したように見えます。

実際に書いてみよう！



答案用紙はココからダウンロードできます

さらに使ってみよう

「何について書くかをはっきりさせる」—このポイントは書く時だけではなく、日頃の会話や報告・連絡・相談の場面でも活かせます。いきなり言いたいことを言うのではなく、「〇〇については、××だと思えます。」のように、これから何について意見を言うのかをはっきりさせてから発言すると、聞き手が理解しやすくなります。これから何について話すかは、話し手は当然わかっているのに聞き手にはわかりません。まず何について話をするかをはっきりさせることで、聞き手が話を理解しやすくなるのです。

年間予定

- | | | | | | |
|------|-----------------|------|-----------------|------|-----------------|
| 4月号 | テーマと伝えたいことを明確に | 5月号 | 主語と述語の関係に注意する | 6月号 | 1文・1主張にする |
| 7月号 | 接続詞は適切・適時・適量 | 8月号 | 同じ意味の言葉は統一する | 9月号 | 使う言葉は常にポジティブに |
| 10月号 | 子どもの育ちを書くコツを知る | 11月号 | 文章ではなく、口頭で伝えること | 12月号 | 保護者にしてほしいことは？ |
| 1月号 | 保護者の質問に答えていますか？ | 2月号 | 過剰な表現はほどほどに | 3月号 | ぱっと見て読みやすい構成にする |

プロフィール●浅井拓久也(あさい たくや) / 鎌倉女子大学児童学部児童学科准教授。東京大学大学院卒業後、大学専任講師等を経て現職。保育所や認定こども園の顧問も務め、全国で講演会や研修会を行う。主な書籍に、『保育の現場ですぐに使える！ 伝わる文章&話し方のきほん』(日本文芸社)、『安心して仕事を任せられる！ 新人保育者の育て方』(翔泳社) など多数。

information

『保育ナビ』編集部からのお知らせ

『保育ナビ』は SNS や公式サイトでも様々な情報を配信しています。より早く、より詳しい情報を知るためにぜひともチェックしてみてください。

公式サイト

『保育ナビ』最新刊はもちろん、バックナンバーや保育ナビブック、特別コラム等の情報をお届けしています。



Facebook

『保育ナビ』のおすすめコーナー、特別コラムの更新情報などを発信しています。



YouTube

「保育ナビ YouTube チャンネル」では、大豆生田啓友先生による「保育ナビらじお」、保育ナビ編集委員の先生方によるオピニオンなどを配信。



Instagram **2024年1月から開始!**

2024年1月から開始しました。編集部からの情報や保育ナビの注目 Topic をお届けします。



購読者限定のメールマガジン

「保育ナビ倶楽部」の会員になりませんか?

「保育ナビ倶楽部」は、『保育ナビ』購読者限定のメールマガジンです（要登録、無料）。保育に役立つコラムや『保育ナビ』情報などが、月に6回程度配信されます。

こんな情報をお届け!

園経営から保育エッセイまで、
保育に役立つ情報

『保育ナビ』の最新記事情報

オススメの保育セミナー情報

フレーベル館の商品情報

「保育ナビ倶楽部」の登録はこちらから >>>



園の危機管理 ポイントチェック

年々多様化、複雑化する危機管理への対応。どのような状況でも実効性が高い対策を実行できる人材を育成するためのポイントを解説します。

4月号 ▶▶▶▶▶

安全計画策定義務化



執筆 脇貴志
(株式会社アイギス)

大事なのは、
いざという時、
実行できるかです!

今月の
ひとこと

2023年4月1日より、すべての保育施設に安全計画の策定が義務化されました。通常、何か新しい規制を国や自治体が制定した場合、はじめの1年間は世の中に知らしめる期間として扱われます。その期間が終了後、ペナルティ等が課せられるというのが通例です。つまり、2024年4月1日より、安全計画作成についての責任が問われるようになるということです。

マニュアルだけでは 不十分に

今回の義務化は、これまでのものとは、少し違っていている部分があります。これまでの通達などは、形として何かがあればよかったものが多かったように思います。例えば、何かのマニュアルなどです。行政担当者が監査等で園に来て、「〇〇のマニュアルはありますか?」「はい。これ

です」で通っていました。しかし、今回の安全計画の策定はこれでは通らないと考えられます。

2022年12月15日に厚生労働省より発出された事務連絡「新省令に基づく安全計画策定の規定内容について」には、いくつかのポイントがあります。(以下、抜粋)

・保育所等を利用する児童の安全を確保するための取組を計画的に実施するための計画を策定しなければならない。

・安全確保ができるために行う指導に関すること、安全確保に係る取組等を確実に行うための職員への研修や訓練に関するものなど計画的に行うためのものであることが求められる。

・策定した安全計画について、施設長など保育所等の運営を管理すべき立場にある者は、(中略)保育士等の職員に周知するとともに、研修や訓練を定期的に実施しなければならない。

以上の内容を読み解くと、安全の計画を作るのではなく、保育時間のどの時間を切り取っても安全対策を講じることができ、職員を育成するための研修、訓練計画を作成し、実施しなければならなくなったことがわかります。

それを実施するために、保育現場に安全対策が実行できる職員を配置することが義務付けられたということです。さらに、その責任は施設長等が担うことも明記されています。ここまで明確に保育現場に安全対策を求

年間予定 * 変更になる場合があります。

4月号 安全計画策定義務化
5月号 保育環境の設定に伴う安全管理
6月号 マニュアル化のポイント
7月号 安全対策の効果の検証

8月号 園の管理下と管理下外を理解する
9月号 不適切保育対策の基本
10月号 事故後対応策の基本
11月号 社会人勉強の重要性

12月号 保育現場のリスクリング
1月号 職場の人間関係で大切なこと
2月号 現場のコンプライアンス
3月号 現場のガバナンス



事故後、問われる内容がより具体的に

めた事務連絡は初めてではないでしょうか。

実効性のある 対策のために

今回の安全計画は、「実効性のあることを実行する」ということが求められています。実践的な安全計画を策定するためには、事故を知ることから始まり、人材を育成するためには人と時代を知ることから始まりです。

今年度は、1年間、保育現場で実効性のある対策を実行できる人材を育成するのに必要なテーマを取り上げ、解説していきます。保育現場で求められる「安全」への対応は、「危機」の多様化で、年々個別具体化してきていますが、ポイントを押さえて着実にやっていけば必ず対応できますので、一緒に頑張りましょう。

プロフィール●脇 貴志(わき たかし) 株式会社アイギス 代表取締役。年間講演回数、約130本。事故相談件数、約1000件。著書に「事例で見る 園の防災・危機管理ー子どもたちの安全のためにできることー」(フレーベル館)など。

職員確保、離職に効く

職場づくり



執筆 菊地加奈子
(社会保険労務士法人ワーク・イノベーション)

「新卒採用や人員確保が難しい」「採用しても離職されてしまう」という課題にどう取り組むとよいのか。保育者の採用や離職防止につながる職場づくりについて、労務の視点からヒントを提供します。



今月の
テーマ

新年度、職場の常識と 風土を見直す

悩み相談が増えている
若手とのかかわり

新年度になり、職員の入れ替わりとともに新卒等の実務経験がほとんどない保育者を受け入れる施設も多いことでしょう。ひと昔前のように「先輩の背中を見て学びなさい」といった育成方法ではなくなり、しっかりと研修マニュアルが整備され、若手にとって無理なく仕事を覚えていけるような余裕あるかかわりを意識する工夫もなされていくようです。

一方で、人手不足もあってと

にかく離職させないことが最優先となってしまう、どこまで指導をすればよいのか、新人とのかかわりのなかで感じる違和感をどう消化してよいのか悩むというご相談も増えています。

新年度への切り替わりのタイミングで働き方・働く姿勢・あるべき職場環境について改めて考える機会をもつことも有効です。

「常識がない若手」と
決めつけてしまう前に
風土を変える勇気も

新人保育者が就職する際にど

のようなことを不安に思っているのか、実際にヒアリングを試みると「シフトの時間の何分前くらいに出勤すればよい?」「同僚とは業務外での程度のやり取りがあるのか」「有休申請はどのくらいの自由度があるのか」といった疑問が多く挙がりました。

これらの質問・疑問からもわかるように、職場における働き方の考え方をいかに明確に示すか、ということにつながります。社会人の常識として、「始業時刻の20〜30分前には準備を済ませるのは当たり前」とか、「休憩

今月の ポイント

POINT 1

時代は変化しており、
若手の価値観を一方的に
常識外れと判断しない

POINT 2

公平な評価基準が
働く人たちの
安心感をつくる

POINT 3

これからの職場は
自己効力感を高める
環境づくりが必要

「仕事で成果を出す」 とはどういうことか？

決められた時間よりも早く来て、終了予定時刻よりも自主的に遅くまで残り、少しでも理想に近づくために身を削って取り

や休日は簡単に取れなくても当たり前前」といったことが染み付いているベテランの方々も多く、まさに働き方における価値観の相違が最も顕著になる部分です。その背景には子どもを第一に考えてきた保育者としての職業倫理や子どもたちへの深い思いがあると言えます。しかし、その常識に違和感をもつ若手との溝について、一辺倒な考えで「常識外れ」とジャッジしてしまうのではなく、時代の流れとともに変化している仕事観や本来のルールというものに照らして風土を変えていく勇氣も必要なのではないでしょうか。

組んでいる姿を見ると、素直に「頑張っているなあ」と思うでしょう。

しかし、本人が心から保育の仕事を楽しみ、没頭している状態なのであれば良いのですが、「そういう姿を見せたら先輩にも気に入られて良好な関係が築けるだろう」と思ってそのようにしていることもあるかもしれません。長らく続いてきた「暗黙の評価基準」に頑張っている（ように見える）人が評価される¹が、実は職員の主体的な成長意欲を奪ってしまうこともあるのです。

「一般企業であれば、いかに効率的に短時間で成果を出せたかを評価できるけれども、保育はそうではない」という考えももちろん理解できますが、「労働契約」に約束した時間の中の仕事を「超えたところに評価の軸を据えるのはフェアではありません。実はこの部分が働く人た

プロフィール●菊地加奈子（きくち かなこ）／社会保険労務士法人ワーク・イノベーション代表。社会保険労務士として全国の保育園の労務管理・給与計算・処遇改善等加算・キャリアパス・人事制度構築の支援を行い、セミナーも多数登壇。働き方に関する国の会議の委員なども務める。

『保育ナビ』編集部からのお知らせ

『保育ナビ』は創刊15年目を迎えました。

これからも、読者の皆さまと共に
保育の未来を考えていきます。

2024年度も『保育ナビ』をよろしくお願いします。

月刊保育雑誌『保育ナビ』
定価 1,200円 (本体 1,091円 + 税 10%)
B5判 64ページ



2024年度『保育ナビ』の特集と5月以降開始の連載

2024年度特集

- 4月号 子ども主体の保育で持続可能な園へ その1 (監修/大豆生田啓友)
- 5月号 3歳から義務教育化、フランスの幼児教育
- 6月号 子ども主体の保育で持続可能な園へ その2 (監修/大豆生田啓友)
- 7月号 リーダーも若手も お互いを知って育ち合う 保育者育成のススメ
- 8月号 こども政策はどこへ向かうのか? ~「こども大綱」解説 (監修/秋田喜代美) ← セミナーあり
- 9月号 「おんなじ」から生まれる遊びと仲間関係 (監修/砂上史子) ← セミナーあり
- 10月号 海外の幼児教育・保育を知る [韓国] (監修/汐見和恵)
- 11月号 子どもと大人が育ちあう「場」を考える (監修/佐藤将之) ← セミナーあり
- 12月号 ゼロから始める園内研修のコツ (監修/矢藤誠慈郎) ← セミナーあり
- 1月号 おとなも子どもも、語り合いの保育へ (監修/青山 誠) ← セミナーあり
- 2月号 児童発達支援の実際 ~園の多機能化に向けて~
- 3月号 アフォーダンスを考える (監修/細田直哉)

※より良い企画にするため内容が変更になる場合があります。

5月号以降に開始の連載

エコロジカルな園庭環境へのリデザイン (執筆/小西貴士) ※5月号から隔月で掲載

教えて、木元先生! トラブル前の法律相談 (執筆/木元有香) ※5月号、8月号、11月号、2月号掲載

「人格」を軸とした人事と研修 (執筆/久保健太) ※6月号、9月号、12月号、3月号掲載 ← セミナーあり

オンラインセミナーでさらに学ぼう!

← セミナーあり については、2024年度に監修者による LIVE オンラインセミナーを開催する予定です。上記以外にも、『保育ナビ』執筆陣によるセミナーが多数あります。誌面と合わせてご活用ください。

オンラインセミナー
の最新情報
はこちらから



<https://seminar.froebel-kan.co.jp/>